

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 上水の合理的な配分	② 施策番号	6201
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 上水道の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
上下水道部	上水道工務課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	配水場
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	配水池等を適正な水位での運用及び衛生的な状態に保ち又、場内の不法侵入者等の監視業務を行い安全で安心な水の供給を行う。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	配水場の衛生面はもちろん各配水区の配水量を把握し震災時等に対応できる池残量の確保及びテロ対策等の重要性もますます求められてきている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 配水停止日数 計算式:	日	配水場の現状把握を行うとともに、配水区の状況と管口径の適正を見極め効率的に更新等を行う。
② 修繕数 計算式:	回	配水場設備の大・中・小規模修繕の把握を行い、適切な設備更新を行う。
③ 計算式:		

指標名	単位	実績					目標		備考
		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標			
① 配水停止日数	日	目標値	0	0	0	—	—	令和元年4月1日より水道事業については、大阪広域水道企業団に統合	
		実績値	0	0	0	—	—		
		達成率							
② 修繕数	回	目標値	—	—	—	—	—	"	
		実績値	2	2	2	—	—		
		達成率							
③		目標値							
		実績値							
		達成率							

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1 配水場管理事業	修繕数	回	2	2	—	16,459	22,526	—	A	ウ	○
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
計	1					16,459	22,526	—			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	配水場の適正な管理を図ることで、安全安定した給水網の維持・整備を図り上水道の合理的な配分を行うことが出来る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2〔2〕の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	停止することなく適正に稼働。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	本施策についての市民団体などと役割分担をすることは非常に少なく、現状は適切に利用者として施策の中身を知って頂くための情報公開が必要でないかと考える。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2〔3〕を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	水道事業に適切な役割を持っていることから適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2〔3〕において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	平成28年度で浄水場設備が完全に廃止され、配水場設備だけとなり適切な配水区割りと設備の機能維持が必要であると考ええる。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	本施策は、広域化が確定した場合見直しが必要となる可能性がある。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	ファシリティマネジメント実施による現状の整備計画と整合を取る。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	水道事業の広域化に伴う整備計画の見直しを行う。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	広域化を実施することで、新たな配水区の整備計画に見合う整備を行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	設備の適切な維持管理について引き続き取組を進められたい。	